

# 書あり 師あり 友ありて



## 令和元年・2019年をふりかえって

学校長 平田 高之

長い2学期も明日で終業式を迎えることになりました。本年度は、「平成」から「令和」に年号が変わる大きな節目の年でしたが、保護者の皆様にとってはどのような年だったでしょうか。

私は18年という長い教育行政生活から、初任校でもある本校に校長として着任させて頂き、素晴らしい生徒たちとの出会いとその生徒たちからもらった数々の感動等、本当に充実した9か月を過ごすことができました。「学校だより」の発行も、生徒たちのがんばりのおかげで予定より多く発行しホームページも充実でき、昨年度より多くのアクセスを頂け、学校の考え方や生徒たちの躍動ぶりを、ご家庭にお届けできていればと願っています。実は、教員2年目で初めて2年生を学級担任させて頂いた時は、学級通信が途中からなかなか発行できなくなりました。それが、4年目の1年1組を担当した時に、生徒たちから学級通信がなかなか出なくなると、「最近学級通信出てないな」とか「次いつ出してくれるの。」等、楽しみにしてくれたり、励ましてくれたり、最後まで定期的に発行でき(多分60号くらいと思うのですが…)、教員としての自信につながったことを覚えています。教員は生徒たちの力で成長させられるものだとも今も思っています。「学校だより」も、保護者の方から「読んでいますよ。」「この前の内容良かったですね。」等声をかけられる時があり、嬉しかったですし、次もがんばって発行しようという気持ちを感じることができました。

人間は大人でも褒められると嬉しいものです。「学校だより第28号」で平野 真理子さんの講演内容を紹介させて頂きましたが、やはり「ほめる・認める」ことは、特に子どもたちにとっては大切だと考えています。しかし、「いじめ」等の誤った行動に対しては「叱る」ことは絶対必要であり、これから生きていくために何が大切なのかを教えるかなければならないと考えています。「ほめる・認める」をより多くしていきながら、必要な時はしっかり「叱る」というバランスをとり、私達も言葉使いには気を付けながら、生徒たちと接していきたいと考えています。

ところで、3者懇談会はいかがだったでしょうか。特に、3年生は進路決定をしなくてはならないということで悩みは多いと思いますが、充実した話し合いになりましたでしょうか。主役は生徒本人ですから、何とかモチベーションを高め、今後の学校生活がさらに充実して送れるような話し合いになっていればと願っています。いずれにしても、学校から一方通行になるのではなく、保護者の皆様とは双方方向の関係を築いていきたいと考えておりますので、何かありましたら、いつでも校長室を訪ねて頂けたらと思っています。

今年の冬休みは13日間ですが、「冬休みの生活記録」の中で「毎年じゃない。一生に一度だ。」というタイトルで、生徒たちにメッセージを書きました。「それぞれの課題を自分自身で見つめ直し、明確な目標を持ち過ぎてほしい。」そして、「何より3学期の始業式に、全員が元気な顔で再会を喜びたい。」という2つの願いを伝えました。

2学期も、体育大会・文化発表会の2大行事や新チームになってからも部活動の躍進、また、授業研究等による教育活動の充実にも努めてまいりましたが、いじめの問題等、取り組まなければならない課題が残っています。令和2年も、教職員がチーム大蔵として「ONE TEAM」となり、全力で取り組んでいきますので、引き続き本校教育にご理解・ご協力頂きますことをお願いするとともに、生徒・保護者の皆様が、良い年末年始を迎えられますことを祈念しています。

**今年1年本当にありがとうございました。**

## 第73期から第74期へ 新旧生徒会長インタビュー



第73期生徒会長には、6月にどのような学校にしたいか等インタビューを「学校だより第8号」で紹介しましたが、第74期生徒会長への引継ぎもかねて、新旧生徒会長にそろって先日インタビューをしましたので紹介します。

○まず現会長に、1年間会長を終えて今の気持ちを聞きました。

僕一人ががんばったのではなく、執行部12人が支えてくれました。全校生徒の皆さんの協力のおかげで、いろいろなことが達成できたのが良かったと思っています。

○一番印象に残った出来事は

やっぱり2大行事です。特に、文化発表会のオープニングセレモニーでは、ぎりぎりまで撮影に時間がかかったけれども、3年生を送る会での経験を活かし、みんなでいろんな工夫を出し合い作ることができ、拍手をもらえて嬉しかった。

○第74期生徒会執行部に期待することは

行事の運営が注目されがちだけれども、生徒会執行部として普段からどう振るまうことができるか。全校生徒の見本になるような存在になってほしいと思っています。

○続いて新会長に、現会長について

この1年学校のリーダーとして素晴らしいと感じていました。現会長の感じていることを自分も感じる事ができたかと思っています。

○なぜ会長に立候補したのか

1日の大半を過ごしている学校がより楽しくなると、学校に行くことが楽しくなる。全員が頑張れる環境を作るために、リーダーとして頑張りたいと思い立候補しました。

○どのような大蔵中学校にしていきたいか、みんなへのメッセージを

全員が学校に行くのが楽しい。今日はこれをがんばろうとみんなが持てる学校を、自分たちで作っていきたい。任せて頂いた以上、任せてよかったと思ってもらえるようがんばりたい。

新会長から、現会長の後ろ姿を追ってさらに良い学校にしていきたいという思いが伝わってきました。新生徒会執行部の今後に期待しています。

## 明石市教育委員会ホームページ「みんなのギャラリー」にご注目下さい!

明石市教育委員会ホームページのトップ画面に「みんなのギャラリー」というものがあります。これは、明石市教育委員会が、テーマは自由で、絵画、写真を広く募集して、選考の結果掲載するというものです。

今回、美術部3年生が1年近くかけて描いた力作3作品を、市内美術部合同作品展や文化発表会での展示だけでは惜しいと思い応募させて頂きました。現在は校長室に飾り、多くのお客様に見て頂き、その素晴らしい出来栄にいつもお褒めの言葉を頂いています。さらに、「あかし」を連想させるものは大歓迎ということで、現3年生が2年生時に「あかし」をテーマに、美術の授業で描いた3作品も応募させて頂きました。これらは、本館1階に展示している作品の中から私が選びました。計6作品を応募したところ、すべての作品を掲載して頂けることになりました。3月までの間、3週間ごと順次掲載されますので是非お楽しみ下さい!

○美術部作品 村上 奈歩さん「See You」 山下 笑美さん「マジックブルーハウス」  
松本 明日香さん「真夏ノ神戸ヨリ愛ヲ込メテ」

○美術授業作品 山本 奈奈さん「春の明石」 住野 白英くん「明石の宝物」  
山本 優咲さん「親子へ受け継ぐ明石」